

西田さんの同級生をお招きして 講演・パネルディスカッション



六月十日(火)に西田敏行さんの同級生であり、ずっと親交のあった齊藤光弘さんと講演をいただき、西田さんの小学校時代から中学校を卒業し上京した頃の話を、郡山のなまり言葉で苦勞毎日LINEで交流があったことなどについて話をしていたいただきました。その講演を受けて、子どもたちからもつと西田さんのことを知りたいと質問をしたところ、六月二十四日(火)にさらに三名の同級生を加えてのパネルディスカッションが実現しました。

この日お話を伺ったのは、齊藤光弘さん、村上賢一さん、齋藤邦一さん、安倍元恵さんの同級生四名です。この方々は、幼少期一緒に遊んでいたことは勿論ですが、大人になってからも西田さんと毎日LINEでやりとりをしたり、西田さんが郡山に帰ってくるたびに過ごしたりしていた方々です。

小学校五年生の時、西田さんより一年遅く小原田小学校に転校してきた村上賢一さんは、衝撃的な西田さんとの出会いについて話をしてくださりました。転校して二日目に、転校生である村上さんをクラスに馴染ませようと、手つながった列の端と端にいた西田さんと村上さん。どちらも他の人を捕まえようとする

もタイミングが合わず列は真ん中から分断。すると西田さんは村上さんのところへ来て、突然頬づえをたたき、負けじと村上さんもたたき返す。休み時間終わりのチャイムが鳴り、教室に戻ると、決着の決闘を申し立てられた村上さん。受けて立つも、どうしたものかという困る村上さんに、今度は突然西田さんは手を出してきて、「いつまでも喧嘩してきえて、仲良くすつべよ。」と直ったそうです。そんな仲直りの仕方を経験したことのない村上さんは、驚かされたもので、その後はすっかり仲良しになったそうです。

何十年もの友だち付き合いの中で、度々西田さんに怒られていたという安倍元恵さん。西田さんとこのこんなエピソードをお話いただきました。

身長163センチメートルの元恵さん、西田さんとの話の中で、「あと5センチ身長が高かったらどうだったかな？」と聞いたそうです。西田さんは、「馬鹿なことをいって、怒ったことあるか」と怒ったことあるかという西田さんは、「怒られたのと同じく、怒ったことあるか」と怒ったことあるかという西田さんは、「実際の自分とかけ離れたところにいる。しょうがないんだ。おめえは、163

センチ60キロの安倍でやっつくしかねえんだ。」なんとも、西田さんらしいエピソードばかりだと思いましたが、西田さんが信頼する友だちだからこそ打ち明けた悩みや、俳優になることを目指した頃、話していただいたことなど、沢山のエピソードとともに、今の年輩になるまで友達関係が続いた秘訣などについても、同級生の皆さんからたくさんお話を伺うことができました。

今回の紙面ではとても書ききれませんが、別の機会にご紹介させていただきます。

同級生の皆さんが、西田さんについて話をするときの様子から、楽曲「あの街に生まれて」ができた背景にも少し触れられたような気がしました。

**安全・安心に向けた取組
ありげとうございりました。**

防犯カメラの設置に関するアンケートへのご協力、ありがとうございました。八割を超える皆様にご回答いただき、反対意見はありませんでした。心配はありませんが、何件かありましたが、クリアできるものと判断いたしました。教育委員会にも報告し、早速準備に入らせていただきます。ありがとうございました。

中体連・部活動にかける思い



試合開始後五分、チャンス到来。右コーナー少し手前からのフリーキック。蹴ったボールは、そのままゴールへ。小原田中の先制点。(サッカー)

ジャンプボールで始まった一回戦。序盤からリング下まで再三にわたりボールを運ぶも、決定力に欠け点差は開くばかり。終盤シュートが決まり出すも、序盤の点差は埋められず惜敗。(バスケットボール)

二面展開で始まった県中地区大会団体戦。期待のシングルスが思わぬ苦戦。ダブルスで一矢報いるものの、後が続かず惜敗。(卓球)

手堅く守り、コールド勝ちした一回戦。ピッチャーの投球数の関係でポジションが変わり迎えた二回戦。思うように守れず、コールド負けを期す。(野球)

少しずつではありますが、各会場をまわり、子どもたちの部活動にかける思いを見て感じる事ができました。部活動での経験は、今後の人生に大いに役立つものと確信しました。



[教育目標]
健自 貴
康主 任

小原田中だより

令和7年6月号
郡山市立小原田中学校
校長 関根宏房
ホームページURL
<https://www2.school.web.ne.jp/swas/index.php?id=0720007>